



第14回京都国際学生映画祭

Kyoto International Student Film & Video Festival 2011

KISFVF 2011

2011.11.19(SAT)~11.26(SAT)

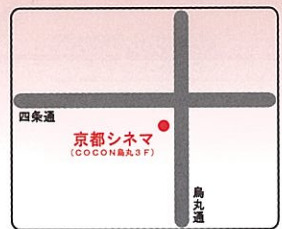
11.19(SAT)~25(FRI) コンペティション
特別・連携企画
26(SAT) 授賞式

：京都シネマ ※1
：京都府京都文化博物館

チケット料金 ※2

1日券：1000円 フリーパス：1500円

- ※1 コンペティション、特別・連携企画などの本祭プログラム詳細は決定次第、HP、その他広報物にて発表いたします。
- ※2 前売り、当日ともに同額。前売りチケットの販売場所は決定次第HP、その他広報物にて発表いたします。



京都シネマ
京都市下京区烏丸通四条下西側
COCON烏丸3階
●地下鉄烏丸線「四条駅」下車
地下鉄四条駅北改札から2番出口へ
●阪急京都線「烏丸駅」下車
西改札から23番出口へ



京都府京都文化博物館
京都市中京区三条高倉
京都府京都文化博物館本館3階
フィルムシアター
●地下鉄「烏丸御池駅」下車
5番出口から三条通りを東へ徒歩3分
●阪急「烏丸駅」下車
16番出口から高倉通りを北へ徒歩7分
●京阪「三条駅」下車
6番出口から三条通りを西へ徒歩15分



【主催】公益財団法人大学コンソーシアム京都
【企画運営】第14回京都国際学生映画祭実行委員会
【運営支援】京都国際学生映画祭企画検討委員会

【助成】芸術文化振興基金
【後援】京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都新聞社、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社 京都支社、中日新聞社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、FM802、近畿経済産業局、国際交流基金
【特別協力】京都シネマ、京都府京都文化博物館
【協賛】(株)葵プロモーション、(株)ディレクターズ・ユニブ、(株)おいかけ、(株)京都アニメーション、キョーフアンリィーズ(株)、(株)サガタリウス企画、ジュネス法律事務所、BONZEくらぶ、大学生協京滋・奈良ブロック、(株)同志社エンタープライズ、(株)響映
【物品協賛】(株)JIMAGICA ウェスト、コダック(株)、富士フィルム(株)
【連携】オーバーハウゼン国際短編映画祭、京都府高等学校芸術文化連盟放送専門部、第23回東京学生映画祭



製作 同志社大学広告研究会

特別企画・連携企画

実行委員が立案・実行する様々な企画は、どれもこの映画祭でしか出来ないイベントばかりです。総合芸術である映画だからこそできる様々な企画たち、是非ここだけの映像の世界を堪能して下さい。

廣原暁凱旋上映『紙風船』

11/19 sat 14:30~



第12回京都国際学生映画祭準グランプリ、廣原暁監督による『世界グッドモーニング!!』が第61回ベルリン国際映画祭フォーラム部門に最年少監督作品として参加したあの快挙から半年。今回は廣原監督の最新作、『紙風船』を凱旋上映いたします!企画プロデュース、制作、公開…全行程を東京藝術大学が中心となって行われ誕生した本作。ご堪能あれ。

関西学生映像イズム

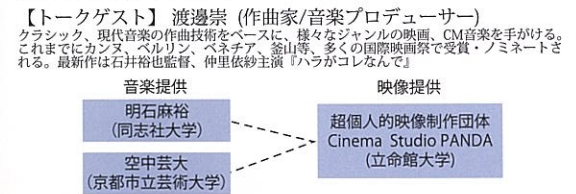
関西で映像を学ぶ学生作家たちをクローズアップ!各プログラムごとにテーマを変え、本映画祭が今最も注目する映像作家や団体を大特集します。見応え十分な3プログラム、是非全てに足を運んで違いをお楽しみ下さい。

- 【短編作家 出逢い篇】 11/19 sat 17:00~
関西の6大学の短編映像作家がここ京都に集まります。異なる学校に在籍し、同じ映像の世界で活躍する彼ら。環境が違えば作品の色も違う、個性的なメンバーが揃いました!何が起るかわからないクリエイターたちの出逢い。その全貌は、シアターで明らかに…!
【作家在籍大学】 京都嵯峨芸術大学/京都造形芸術大学/立命館大学 大阪成蹊大学/成安造形大学/宝塚大学
- 【映像団体 対話篇】 11/20 sun 14:30~
今、関西で最も注目される2つの映像団体の奇跡の対談が実現。それぞれの作品上映後に、今彼らが歩いている道、そしてこれから歩く道について語り合ってもらいます。異なる性質をもつ2団体の、熱い対談にご期待下さい。
【参加団体】 映像家族 yucca / 月世界旅行社
- 【学生作家 回顧篇】 11/23 wed 17:00~
ある学生作家の4年間に焦点をあて、3本の作品上映と共に大学4年間の成長と想いに迫ります。映画を学び始めてから今に至るまで、どのように彼の作品は変化し、成長を遂げたのか。その変遷を、会場の皆さんと共に探ります。
【作家】 大田健人(大阪芸術大学芸術学部映像学科 4 年生)

“Listen” to Film

11/20 sun 17:00~

音と映像の科学実験。それがこの企画のテーマです。映画の中の音楽は、映像を最大限に生かす大事な要素。「でも、私たち添えもんじゃないのよ?」そんな映画音楽たちの叫びが聞こえませんか?1つのコンセプトを元に、音楽・映像それぞれの分野で活躍する学生が作品を制作。それを様々な方法で掛け合わせた時、どのような化学変化が起きるのか?4作品の上映時には、ゲストに作曲家・プロデューサーとして音楽界の第一線で活躍する渡邊崇さんをお招きし、実験結果を学生と熱く語っていただきます。映像の音を、聴いて下さい。



KISFVF2010 グランプリ作品上映

11/21 mon 17:00~

昨年度の短編・長編のグランプリ作品を上映いたします。



『Train of Thought』
Leo Bridle & Ben Thomas (2009 | イギリス | 4min)



『Don't Be Afraid of the Dark Room』
Kuba Czekaj (2009 | ポーランド | 35min)

第23回東京学生映画祭GP作品上映

11/22 tue 14:30~

本映画祭のパートナーである東京学生映画祭の本年度グランプリ作品を上映します。



『デリバリーファッションヘルス』
■古地良子 (東京造形大学 映画研究会)
入れ替わった大学生、夢を追えなくなった小説家、現状の幸せに不安を抱える青年、ダメ男に引っかかるダメ女、間違った革命家、全てのやもやが曖昧に閉れていく。

最終審査員・四ノ宮浩作品上映

本年度最終審査員である四ノ宮浩氏の作品を上映します。ドキュメンタリー映画で国内外の映画祭で数々の輝かしい受賞歴を誇る作品を、一挙特別上映します。

- 『忘れられた子供たち スカベンジャー』 1995年 11/22 tue 19:30~
フリビン・マニラ郊外の巨大なゴミ捨て場「スモーカーマウンテン」に暮らす人々を主人公としたドキュメンタリー映画。
- 『神の子たち』 2001年 11/24 thu 17:00~
第二のスモーカーマウンテンと呼ばれるパヤソゴミ捨て場を舞台としたドキュメンタリー映画。
- 『四ノ宮浩がみた311後の震災と原発(仮題)』 11/25 fri 19:30~
2012年春公開予定の311後の震災と原発をテーマにしたドキュメンタリー作品を特別pre公開。
※上映作品は変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。

高校生作品上映

11/23 wed 14:30~

大谷大学で今年開催された「第4回春の高校放送フェスティバル in Kyoto」において評価を受けた7作品を上映します。

- 『本の虫』 京都府立嵐山高等学校
- 『Re:』 京都府立京都すばる高等学校
- 『いい足袋、京気分!』 京都府立洛西高等学校
- 『彼等の教室』 京都府立嵯峨野高等学校
- 『鳥羽高校の原点〜あの銅像、実は…!〜』 京都府立鳥羽高等学校
- 『第三十五回全国登校競技選考部門』 立命館高等学校
- 『JKD〜女子高生男子』 京都府立嵯峨野高等学校

ワールドセレクションプログラム

11/24 thu 19:30~

〜“ある生”〜“ある死”を探して〜

“生死”。抽象的な概念でありながらしかし必ず起こる具体的な体験を、様々な観点や映像表現から見つめ、感じてみる。キュレーター中沢あき氏による、世界中の国際短編映画祭で受賞・上映された短編映画作品のセレクションプログラム。

- 【ゲスト】 中沢あき 【協力】 オーバーハウゼン国際短編映画祭
- 『man sribt/ the death of one』 Patrick Doberenz, Philipp Enders (2009 | ドイツ | 32min)
 - 『Exodus』 Almagul Menibayeva (2009 | ドイツ | カザフスタン | 10min)
 - 『I killed the butterflies.』 Cyril Lachauer (2007 | ドイツ | 5min)
 - 『What I'm looking for』 Shelly Silver (2004 | アメリカ | 15min)
 - 『98 beautiful』 Tessa Knapp (2010 | ドイツ | 17min)

学校では教えてくれない作家処世術

11/25 fri 14:30~

〜ブリート・パルン氏に学ぶ〜

エイガデゴハンラタベルニハドウシタライノ? 答えの出ないその疑問に KISFVF が挑みます。ヨーロッパ・アニメーション界のゴダールこと、ブリート・パルンの2作品と彼の作家人生ドキュメンタリーを通して、不透明なこの業界にメスを入れる…!かも。

- 【ゲスト】 松倉友二、大城愛香、原口甲斐
- 【上映作品】 『地球は本当にまるいの?』、『森のなかのマジシャン』、『ハルノグラフィ』



kara-S
Kyoto Seika University
開場期間 11/19・11/20・11/23 15:30~19:30

会場である京都シネマ横の京都精華大学サテライトスペース kara-S に、映画祭期間中数日限定で交流スペースを設けています。映画祭の中に自由なまり場を提供することで、入選監督と観客、実行委員同士の新しい出逢いとなるよう、過去の作品の視聴ブースやトークショー(予定)など様々な仕掛けを用意しております。

コンペティション

国内外の学生が制作した映画・映像作品を、学生実行委員が審査し、厳選した入選作品を上映します。最終審査員としてお招きした専門家と交え、その中からグランプリ他各賞を決定します。今年度は全応募作品総数:254本(国内176本/海外78本、短編部門146本/長編部門108本)の中から入選作品15本を上映します。

プログラムB

『ゴヤリーナとサンゴ礁』 Goyarina and the coral reef



■大城愛香 Aika Oshiro
(2011 | Japan | 8min26sec | miniDV)

このアニメーションは、子ども達に向けた環境教育を目的として制作しました。内容は、バレーナを夢見て、ゴヤリーナの輪切りをいつも着けている子豚のゴヤリーナが珊瑚礁について学んでいくものです。珊瑚が生き物であること、そして、その珊瑚礁にはたくさんの生物が共に生きていくことをミュージカル風に表現しました。

短編

『Hand Maid』



■Mo Hyun-shin
(2010 | SouthKorea | 4min | DV)

かつて神聖なる労働の価値を保っていたものは、今や伝説と化してしまった。皮を剥く手は犠牲的サイクルを繰り返す、合理的であることを余儀なくされている。そもそも手というものは、顔などを含めた人体の中で最も、動くという点そのものにその本質がある。言うなれば、生まれつきの召し使いなのである。

短編

プログラムC

『Elli & Richard』



■Julia Bossert
(2011 | Germany | 14min 30sec | HDCAM)
エリとリチャードの二人は、60歳半ばの夫婦。お洒落なレストランで大ゲンカとなり、リチャードは店を追い出され、一人取り残されたエリは絶望に暮れる。すると間もなく周りの女性たちが彼女に助けを申し出て、中にはとても真摯にアドバイスする者もいた。そんな彼女たちにエリは思わぬ形で対応していく。しかし、実はエリとリチャードにはとても奇妙な秘密があった…。

短編

『短編映像作品「死神」』



■山口直哉 Naoya Yamaguchi
(2011 | Japan | 25min 26sec | HDV)

家も仕事もなく死を決意した男の前に「あなたを助けに来た」と死神が現れる。死神はある「呪文」を男に教え、医者になれと助言する。ただし、「呪文」には「ルール」があるという。医者として成功し、大金持ちになった男の生活は墮落していき、ついには金欲しさに「呪文」の「ルール」を破ってしまう。

長編

プログラムD

『TALISMAN』

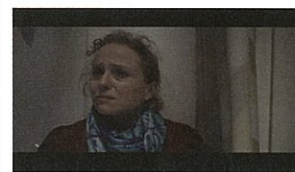


■原口甲斐 Kai Haraguchi
(2010 | Japan | 2min 13sec | miniDV)

道に落ちていた何か。それを使うと食べ物がいくらでも出てきた。しかしその不思議な何かは実は…。

短編

『THE STAIN』 PLAMA



■Igor Chojna
(2010 | Poland | 15min 30sec | HDV)

仕事に向かう途中、イレーナは小さな事故を引き起こしてしまう。その不運な出来事は、彼女の一日を壊すだけでなく、彼女の人生をも変えていく…。

短編

『The Bochum Boys』 Bochumer Jungen



■Henning Marquaß
(2010 | Germany | 12min 58sec | HDCAM)

ティンパニ奏者マンフレッドが所属する伝統あるマーチング・バンドは、新しいサウンドを求めていた。彼ら自身はまだそれに気付いていないというだけで、特に指揮者は昔ながらのやり方に固執しており、マンフレッドはクビにされてしまう。ポプムの地下鉄で壮大な音楽的闘争が繰り広げられる…。

短編

『激情とビードロ』 a violent marble



■山田慧伍 Keigo Yamada
(2011 | Japan | 53min 14sec | HDV)

人間含め、「生物」が大嫌いな貴子。彼女はいつも「嫌いなノート」たるものを書きためていた。そんなある日、貴子のトラウマを知る男がしのびよる…

長編

『グレンマアの話』 My grandma's story



■佐久川満月 Mizuki Sakugawa
(2010 | Japan | 11min | miniDV)

私の祖母は、自分のことを「グレンマア」と言う。英語の「Grandmother」が訛った言い方だろう。グレンマアは私にいろいろな話してくれる。例えば、昨日見たテレビや母が小さかった頃の話、そして戦時中の話をすることもある。それは内容的には暗く、悲惨な話である。しかし、話をするグレンマアの語り口は明るく、悲しさや恐ろしさの中に、どこか突き抜けた、ふしぎな「可笑しさ」を感じることもある。

短編

『パニック・コミック』 Panic Comic



■奥山由之 Yoshiyuki Okuyama
(2010 | Japan | 47min 39sec | miniDV)

元売れっ子漫画家、花園桜子。本名、向居健太郎。デビュー作で人気漫画家の仲間入りを果たした彼であったが、その後はヒット作に恵まれず、漫画家生命の危機に立たされていた。そんな中、事務所へやって来る7人の来訪者たち。それぞれの「例の物」を受け取りに。7つの目的が交差する時、止める事の出来ない歯車が回り出す!!!

長編

プログラムD

『Growth』 Wachstum



■Florian Heinzen-Ziob
(2011 | Germany | 23min 13sec | HDCAM)

祖父母の家の庭には桜の木が立っていて、毎年少しずつ大きくなっていく。私も当時はまだ成長の途中で、それは世界の人口や国内総生産も同じだった。私はその成長が永遠に続くのだろうと感じていた。しかし、祖母の心にある何かもまた育ち初めているのに気付いたとき、初めて疑問を持ち始めた。これは限りない成長というユートピアについての、自伝的ドキュメンタリーである。

長編

『EGOISM』



■原口甲斐 Kai Haraguchi
(2010 | Japan | 6min 4sec | miniDV)

ある村が飢饉に襲われた。次々と村人が餓死していく中、村長の祈りを聞いた神が村人達を助けるために現れる。村は飢饉から復興し、再び村に平和が訪れるが…。

短編

『プレイバック・プレイボール』 play back play ball

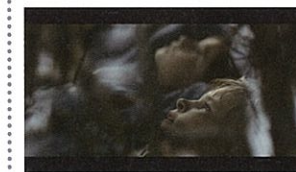


■南翔也 Syouya Minami
(2011 | Japan | 24min 54sec | HDV)

ある中年サラリーマンの元に一通のハガキが届く。それは高校時代に告白する事ができなかった初恋の相手“渚”からだった。あの日の後悔をプレイバック！プチタイムスリップムービー！

長編

『TWIST & BLOOD』



■Kuba Czekaj
(2010 | Poland | 30min | 35mm)

「でぶっちょ」があだ名の11歳の男の子は、仲間内では物笑いの種だ。両親の望みは彼が痩せることで、そのためならどんな犠牲を払っても構わなかった。しかし、「でぶっちょ」が自分のネガティブな感情を紛らすため、独自の方法を見つけたことは誰にも秘密。だが、やがてその方法は彼が大好きで特別に思っている友達にばれてしまう…。

長編

タイムテーブル

★トークショーあり (予告なく変更することがございます)

	11/19 sat	11/20 sun	11/21 mon	11/22 tue	11/23 wed	11/24 thu	11/25 fri
14:30 ~ 16:30	廣原暁凱 上映 『紙風船』	関西学生映像イズム 「映像団体 対話篇」	コンペティション プログラムC	東京学生映画祭 グランプリ作品上映	高校生作品上映	コンペティション プログラムD	学校では教えてくれない作家処世術 ~プリート・バルン氏に学ぶ~
17:00 ~ 19:00	関西学生映像イズム 「短編作家 出逢い篇」	"Listen" to Film	KISFVF2010 グランプリ作品上映	コンペティション プログラムA	関西学生映像イズム 「学生作家 回顧篇」	最終審査員作品上映 『神の子たち』	コンペティション プログラムB
19:30 ~ 21:30	コンペティション プログラムA	コンペティション プログラムB	コンペティション プログラムD	最終審査員作品上映 『忘れられた子供たち ~スカベンジャー~』	コンペティション プログラムC	ワールドセレクション プログラム ~ある生~ある死~を探して~	最終審査員作品上映 『四ノ宮浩がみた 311後の震災と原発』

最終審査員

四ノ宮浩 (ドキュメンタリー映画監督)

1958年、宮城県生まれ。大学在学中に演劇実験室「天井桟敷」へ入団後様々な職業をへて1986年に監督デビュー、ドキュメンタリー作品の数々が国内外で高い評価を受ける。「アジアの貧しい子供たちへのサポートプロジェクト」を立ち上げ、貧しい環境にいる子供達への直接的支援活動を行うなど、映画以外の活動も多岐にわたる。『忘れられた子供たち スカベンジャー』『神の子たち』『BASURA』『四ノ宮浩がみた311後の震災と原発』を現在製作中。来年春公開予定。

松倉友二 (アニメプロデューサー・J.C.STAFF/ジヤム・クリエーション代表取締役)

1972年、京都府生まれ。J.C.STAFF所属。異例といえる20代の若さでプロデューサーとしてデビュー。少女漫画、少年漫画、ライトノベル等ジャンルに関わらず様々なタイトルに関わる。『少女革命ウテナ』『ハチミツとクローバー』『灼眼のシャナ』『とある魔術の禁書目録』等多数。

授賞式

11/26 sat
10:00 (予定) 京都文化博物館
17:00 フィルムシアター



映画祭の最後を締めくくる授賞式では、本年度の短編・長編の各グランプリ作品を発表いたします。最終審査員と入選監督による徹底討論や、実行委員による講評発表も予定しています。また、来場者からの作品や審査に関する質疑応答の時間も設けており、登壇する入選監督や最終審査員、実行委員へ直接質問することができます。授賞式の後には一般の方も参加できるアフターパーティーを予定しておりますので、是非ご参加下さい。
※アフターパーティー詳細はHPにて後日発表予定。